

SDGs 献血

献血はいのちを救う
ボランティア

ご協力をお願い

次回、
献血のご案内



献血日

11月18日（水曜日）

会場
受付時間

海山公民館 10:00～11:00
紀北町役場 13:30～16:30

1. 献血当日は睡眠・食事・水分を十分にとってご参加ください。
2. 3日以内に薬を飲まれた方は服薬名をご申告ください。
3. 3日以内に歯科治療・歯石除去を受けた方はご遠慮ください。
4. 献血カードがなくても献血可能です。

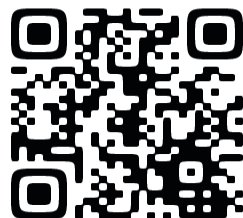
医療機関で使用される輸血用の血液はすべて
皆様からの「献血」で支えられています。

皆様からいただいた大切な血液は患者さんの治療の助けとなっています。

献血基準（一部）

- ★体重50kg以上
- ★男性17歳～ 女性18歳～
69歳まで協力可能

※65歳以上の方は、60～64歳の間に献血経験のある方に限ります。



【献血基準について】

当日服薬しても献血できる薬があります！

降圧剤・高脂血症薬・抗痛風薬・胃腸薬・市販のお薬などは一部を除き基本的に献血可能です。
服薬がある場合は、お名前がわかるもの（お薬手帳・メモ可）を当日受付職員までお持ちください。
※医師の総合的な判断でご遠慮させていただく場合もございます。予めご了承ください。

献血とSDGs

献血に定期的に協力いただくことで、安定した輸血医療を患者さんに提供することができます。
サステナブルな医療体制を築くには継続的かつ持続的なみなさんの献血協力が必要です。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

三重県赤十字血液センター

【献血に関するお問い合わせ】

献血推進課 TEL:059-273-6702

予約は アプリから！



献血Web会員サービス

ラブラッド



継続的な献血へのご協力を
よろしくお願いいたします。

令和8年1月5日(月)から、献血カード・手帳機能は献血アプリ
「ラブラッド」へ完全移行！ ご協力をよろしくお願いいたします。

※アプリ画面イメージ

なぜ、献血は必要なの？

血液は人工的に造ることができず、
長期保存もできません

また、献血者の健康を守るため、1年間に献血できる回数や量にも上限があります。患者さんに安定的に血液をお届けするためには、一年を通じて多くのかたに継続して献血にご協力いただく必要があります。

献血でいただいた血液は、手術や交通事故などで大量の血液を失った際に使われることもあります。日本では輸血用血液製剤の多くが悪性新生物(がん)や白血病の治療に使われています。



↑ ios用



↑ Android用



アプリ版 /
ダウンロードは
こちらから



バーコードで受付

従来の献血カードが不要に！
次回、受付でこの画面を
ご提示ください！

次回献血可能日

400mL献血は
男性 年3回 (協力日から12週間後)
女性 年2回 (協力日から16週間後)
ご協力頂けます。

事前の問診回答

⚠ 当日の朝5時から可能
データの反映に15分ほど
かかります

血液検査の結果

過去の検査結果を確認可能
(今回の結果は最短期間後)

献血アプリ「ラブラッド」では、2005年4月以降の血液検査結果を閲覧することができます。
ご自身の健康管理にお役立てください。※登録されていない方へは、郵送にてお知らせしています。

検査項目	基準値 (単位)	説明
ALT (GPT)	8~49 (IU/L) (※1)	肝臓に最も多く含まれる酵素です。肝細胞が破壊されると血液中に流れ出すので、急性肝炎で最も多く上昇し、慢性肝炎や脂肪肝(肥満)などでも上昇します。激しい運動の後に一過性の上昇がみられることがあります。
γ-GTP	9~68 (IU/L)	肝、胆道、膵、腎などに多く含まれる酵素です。上昇する疾患は閉塞性黄疸、肝炎、アルコール性肝障害などです。病気がなくても長期飲酒者では上昇することが多く、1カ月くらい禁酒するとある程度正常化します。
TP 総蛋白	6.6~8.2 (g/dL)	血清中には80種類以上の蛋白が含まれ、種々の機能を持ち、生命維持に大きな役割を果たします。その総量を総蛋白として測定しています。
ALB アルブミン	4.0~5.1 (g/dL)	血清蛋白の50%以上を占めるアルブミンは、病気などで栄養が悪くなると減少するため、健康診断のスクリーニングとして大きな意味があります。
A/G アルブミン対グロブリン比	1.3~2.1	血清蛋白はアルブミン(A)とグロブリン(G)に分けられ、その比率は健康な人では一定の範囲にありますが、病気によってはその比率が変化(主として減少)してきます。
CHOL コレステロール	140~259 (mg/dL)	血清脂質の一つで、一般に脂肪の多い食事を続けていると上昇します。また肝臓などで作られ、肝、胆道、腎、甲状腺の病気でもその値が上下することがあります。血清コレステロールが多くなると動脈硬化を起こしやすいとされています。
GA グリコアルブミン	16.5%未満	糖尿病の検査の一つです。過去2週間の血糖値が低い状態が続いていると低下し、高い状態が続いていると上昇します。糖尿病では標準値より上昇します。標準値範囲内でも、15.6%以上の場合には注意が必要です。